

下川町SDGs未来都市計画～人と自然を未来へ繋ぐ「しもかわチャレンジ」～

自治体名：北海道下川町

<p>1.地域の特徴と課題及び目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北海道下川町は、地域資源である森林を最大限・最大効率に活用することを基本とし、森林総合産業の構築、超高齢化社会対応、エネルギーの自給化と低炭素社会の構築を柱とした持続可能な地域社会の実現を目指している。 ■ 人口減少により、生産年齢人口や年少人口の縮小による地域活力の低下、担い手不足、経済の縮小、地域課題の増加が懸念される。 ■ 産業の振興（経済）、安全で安心して住み続けられるまち（社会）、森林バイオマス（環境）の取組により、「2030年における下川町のありたい姿（下川版SDGs）」の実現を目指す。 	<p>2.関連するゴール</p>	
<p>3.取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)</p>	<p>経済面では人材育成と先端技術導入、社会面では健康で安心して暮らせる社会条件整備、環境面では森林バイオマスを中心とした脱炭素社会の実現をテーマに各事業を実施。</p>		
<p>4.自治体SDGs推進等に向けた取組</p>		<p>6.取組成果</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 畜産収益力向上クラスター推進事業、農業振興事業 家畜飼養環境の改善、施設園芸作物の生産性向上 ■ 健康省エネ住宅の主流化事業 高気密・高断熱住宅等への改修、バイオマス機器導入、太陽光設置 ■ 町内CO₂調査及びエコアクションポイント事業 CO₂排出量・吸収量の把握、環境活動支援 ■ 地域内外の多様な主体とのパートナーシップによるSDGsプロジェクト実践事業 町民主体の地域課題解決支援、SDGsを切り口にした新たな企業連携 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 畜産収益力向上クラスター推進事業、農業振興事業 農業生産額 2019年32億4,300万円 ⇒ 2021年35億8,100万円 ■ 健康省エネ住宅の主流化事業 改修16件、バイオマス機器導入2件、太陽光設置1件 ■ 町内CO₂調査及びエコアクションポイント事業 排出量43,342t-CO₂、吸収量100,723t-CO₂、環境活動延べ3,486名（実人数262名） ■ 地域内外の多様な主体とのパートナーシップによるSDGsプロジェクト実践事業 町民主体の取組3件、新たな企業連携2件 	
<p>5.取組推進の工夫</p>		<p>7.今後の展開策</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 第6期下川町総合計画（最上位計画）とSDGs未来都市計画との連動 ■ 2021年6月号から「広報しもかわ」でSDGs連載記事を掲載（2021年度-全10回） 		<ul style="list-style-type: none"> ■ SDGs未来都市計画に掲げるKPIを測るため、2022年度に町民アンケート（18歳以上の全町民）を予定。 ■ アンケート結果をもとに、2023年度予定している第6期下川町総合計画の中期計画策定の基礎資料として活用していく。（SDGs未来都市計画とも連動） 	
<p>8.他地域への展開状況（普及効果）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ エコプロ2021（R3.12.8-10）に出展し、本町の取組について普及展開を図った。 ■ コロナ禍等により、取組紹介や視察件数は減少しているが、オンラインによる取組紹介が全体の約6割を占めている。 		